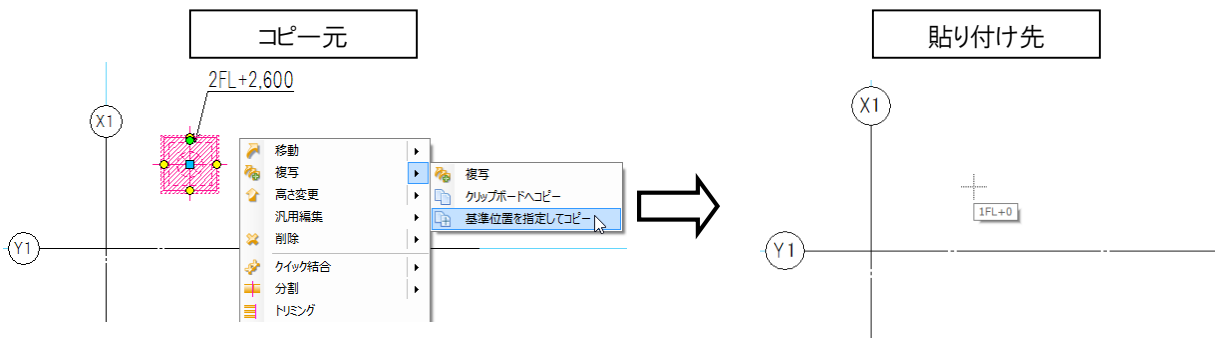


Q コピーした要素が貼り付け時に表示されない

A1 貼り付け時に「高さ」のチェックを外します

A2 [クリップ]の範囲を確認します

コピーした要素を貼り付ける時に、貼り付け先のビューに[フロアの表示/非表示]または[クリップ]が設定されていると要素が表示されないことがあります。



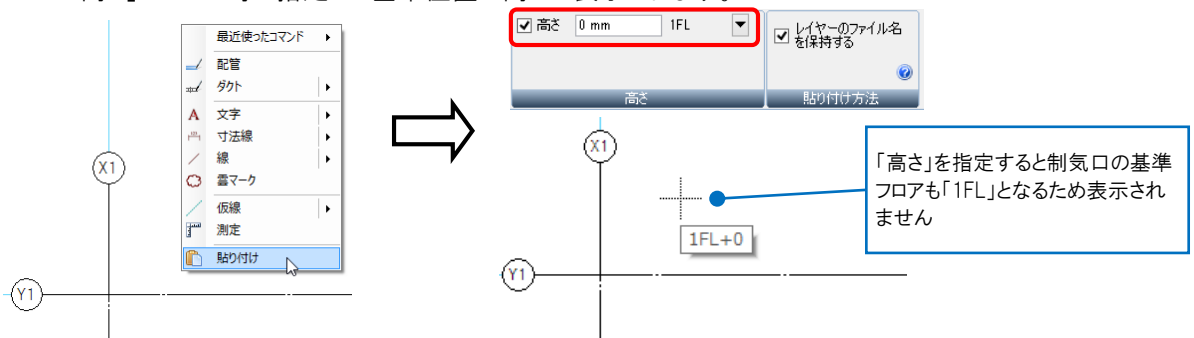
▼A1 貼り付け時に「高さ」のチェックを外します

貼り付け時に「高さ」にチェックを入れると、コピー時の基準点の高さが表示され、コピーした要素はそのフロアの要素になります。そのため貼り付け先のビューでそのフロアが非表示になっていると要素が表示されません。チェックを外すとコピー時の要素の高さで貼り付けることができます。

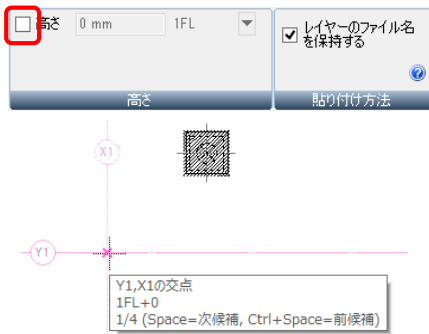
例) 通り芯の交点(「1FL+0」)を基準位置としてコピーし、[フロアの表示/非表示]を設定しているビューに貼り付けます。



- 1 貼り付け先のビューでコンテキストメニューから[貼り付け]をクリックします。リボンの「高さ」にコピー時に指定した基準位置の高さが表示されます。



2 「高さ」のチェックを外すと、コピー時の要素の高さ(「2FL+2600」)で貼り付けることができます。



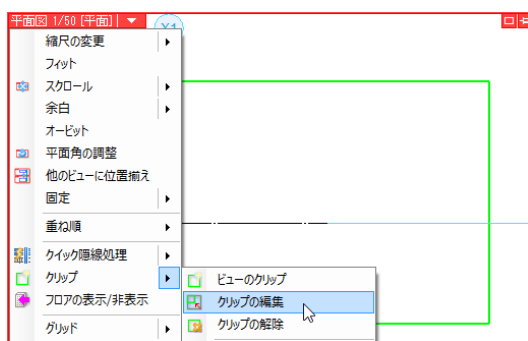
▼A2 [クリップ]の範囲を確認します

クリップは設定された範囲内の要素を表示します。表示されない場合は貼り付ける要素がクリップの外にあります。クリップの範囲を確認します。

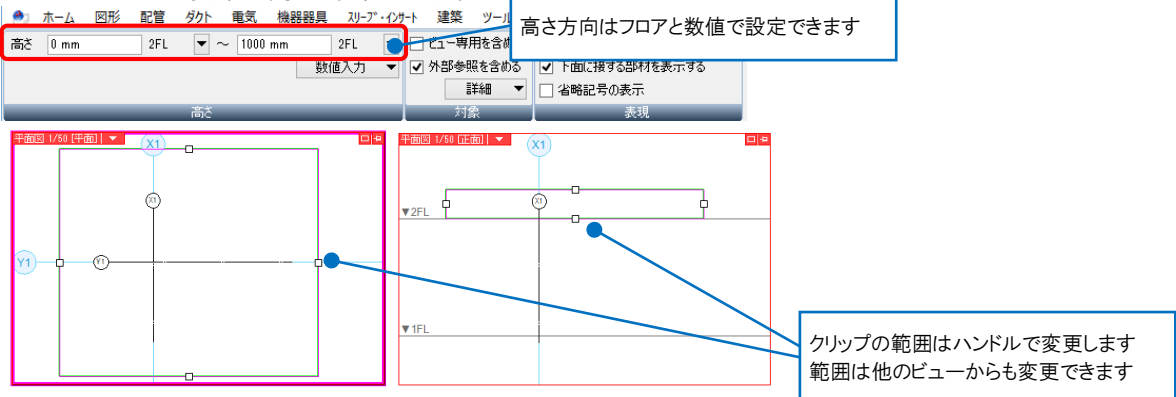
またビュー専用の要素が表示されない場合はクリップの対象を変更します。

・クリップの範囲を確認する

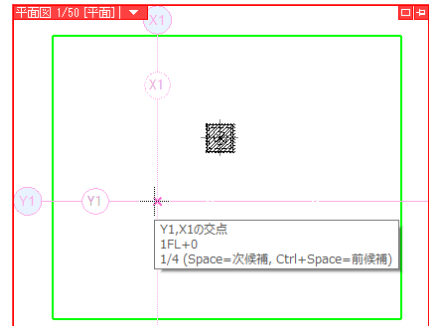
1 貼り付け先のビューのビュー名横の▼より「クリップの編集」を選択します。



2 クリップの高さと範囲の確認をすることができます。編集する場合は、高さや範囲を調整します。またはコピーする要素の高さを変更します。

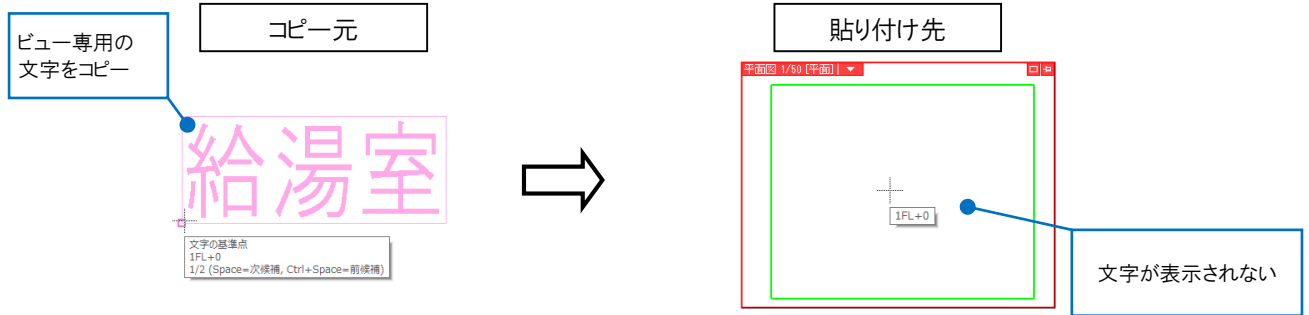


3 クリップの範囲内に要素があると表示されます。



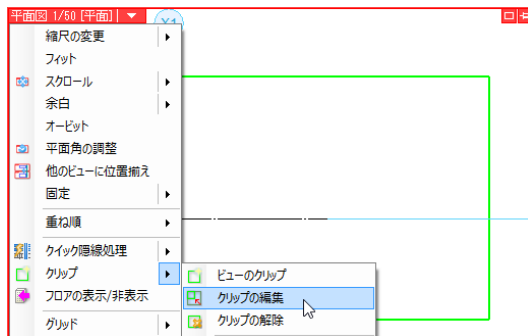
・クリップの対象を変更する

ビュー専用の文字や寸法線をコピーし、クリップを設定しているビューに貼り付けます。



1

貼り付け先のビューのビュー名横の▼より「クリップの編集」を選択します。



2

ビューのクリップ編集コマンドで「ビュー専用を含める」のチェックを外します。

チェックを外すとクリップの範囲に関係なく表示できます。

「ビュー専用を含める」のチェックを入れた場合、ビュー専用要素にもクリップ範囲が適用されるため、範囲外の要素は表示されません。

